

湯田から山崎までの

川内川の観光開発は



舟倉 武則議員

舟倉武則議員 川内川中流域に位置する本町の湯田、時吉、川原、虎居川口を経て山崎に至るまで具体的な利・活用を図るため、県立公園の計画をも含めて、観光資源開発のため関係機関に何らかの働きかけをしているのか。

北村町長 湯田、川原、二渡、山崎地区の四箇所を中心とした環境整備に係る要望書を川内川工事事務所に提出している。この結果、今回は「水辺の楽校」の完成となった。なお、二渡地区は、基盤

整備に併せて河川改修予定地の用地買収を先行して実施している。また、湯田地区は水力発電施設交付金制度を利用し河川敷広場の舗装工事に着手したところである。このような状況であるが、現在の川内川の自然景観が十分に活かされ、実効性のある利・活用の方法等を更に研究し、関係機関へ要望していきたい。

河川敷の利・活用策は

舟倉議員 河川敷の整備を積極的に進め、川原相撲の復活、小牧プールの再現や新川を利用したカヌー競技等への取り組みの考えは。

町長 川内川工事事務所には、継続して整備をお

願っている。川原地区の河川敷については、従来からイカダ下りや泳ぎ初め等の各種イベントに活用され、「水泳宮之城」の名声を高めた歴史的に

も価値のある場所である。当面の活用策として、堆積している土砂除去や繁茂している草の伐採を行い、子供たちが遊べるようなせせらぎの復元と広

場の整備、新川でのカヌー練習等についての対応ができるように協議を行っているところである。できるだけ早く整備がなされるよう努力したい。

工事着手はいつか

舟倉議員 歴史ある河川敷を整備し、利・活用しやすいように取り組むとのことだが、工事の着手・完成時期はいつ頃か。

十五年度から着手を

建設課長 川内川工事事務所は、同一地域内に同様の事業導入は難しいとの見解であり、維持管理といったことから、土砂除去や草の伐採を新年度から取り組みたい。



川原地区の河川敷で行われる恒例の「泳ぎ初め」